

第856圖



たかのつめ

一名 いものき

Kalopanax innovans Miq.

山地ニ生ズル落葉小喬木ニシテ、高サ3-5m許。幹ハ直上シテ分枝シ、樹皮平滑ニシテ灰色ヲ呈ス。葉ハ互生シ、長枝梢并ニ短枝端ニ集リ着キテ長柄ヲ具ヘ、三出複葉ヲ成シ、基部ノ者ハ往々單葉ヲ呈ス。小葉ハ橢圓形ニシテ兩端尖リ、全邊ニテ秋末黃變ス。夏、短枝頂ニ花軸ヲ抽テ上部分枝シ、枝端ニ圓球狀ノ繖形花穂ヲ成シテ多數ノ黃綠小花ヲ開ク。五花瓣、五雄蕊、下位子房、二裂花柱アリ。果實ハ小球形ニシテ黑熟ス。和名鷹の爪ハ其冬芽ノ形狀ニ基キ、芋の木ハ其材ノ軟クシテ芋ノ肉ノ如ケレバ云フ。

第857圖



はりぶき

Echinopanax japonicus Nakai.

深山ノ樹下陰地ニ生ズル落葉灌木ニシテ高サ凡60-90cm許、莖ハ往々屈曲横斜シテ褐色ヲ呈シ、葉ト共ニ多クノ刺ヲ生ズ。葉ハ大ニシテ互生シ、莖頭ニ集リ着キ、長柄ヲ具ヘテ四方ニ開出ス、掌狀ニ分裂シ、裂片ハ尖リテ更ニ尖裂シ、葉縁ニ不齊齒アリ、葉面ノ脈上ニ尖刺アリ、偶ニ無刺ノ品めはりぶき (var. inemis Makino) アリ。夏日、莖頂葉心ニ圓錐花穂ヲ成シ、花軸ニ總狀的ニ短枝ヲ分チ、其枝頭ニ繖形ヲ成シテ有梗ノ帶綠白色ノ小花ヲ開ク。五花瓣、五雄蕊、下位子房、二花柱アリ。果實ハ廣橢圓狀圓形ニシテ赤熟ス。

第858圖



うこぎ (五加)

一名 ひめうこぎ 古名 むこぎ  
Acanthopanax Sieboldianum Makino.

處々ノ人家ニ栽植シ往々生籬ト成リ或ハ逸シテ野生的ニ成リタル落葉灌木ニシテ叢生シ、根ヲ引テ苗ヲ生ズ。枝ハ灰白色、皮目散在シ、短枝ヲ生ズル事多ク、4-7mm長ノ眞直ナル硬刺アリ。葉ハ深綠色、長葉柄アリテ長枝ニ互生シ并ニ短枝ニ束生シ、全裂シ、裂片倒卵狀長橢圓形或ハ倒卵狀倒披針形、先端ハ微凸尖鈍形ニシテ下部ハ楔形或ハ狭楔形ヲ成シ、上半部ニミ葉縁ニ不齊ノ缺刻齒牙ヲ刻ミ兩面無毛ナリ。初夏ノ候、短枝束葉中ヨリ通常葉ヨリモ長キ綠梗ヲ抽キ、梗端ニ黃綠色花ヲ半球形ノ繖形花序ニ密着ス。雌雄異株ナルベシト雖ドモ我邦ニ純雄株無シ。花ハ小形、萼ハ皿狀、五乃至七齒アリテ宿存ス。花瓣五乃至七片、雄蕊五乃至七數存在シ脱離シ易シ。子房ハ下位、五乃至七室、花柱ハ上部五乃至七岐ス。核果ハ漿果樣ニシテ球形、黑熟、數花柱ヲ殘存シ、五乃至七分核アリテ核内各一種子ヲ容ル。本種ハ其果實五乃至七室ヲ成シ花柱亦從テ同數、且花梗通常葉ヨリモ長ケレバ直ニ識別シ得。嫩葉ヲ採リテ食用トス。往時支那ヨリ渡來セシ種ニシテ我日本ノ産ニ非ラズ、蓋シ藥用植物トシテ將來セシナラン、所謂五加皮ハ此レノ根皮ナリ。和名うこぎハ五加木ノ意ニシテ五加ノ唐音ウコト木ノ邦音キトノ合セシ者ナリ。

やまうこぎ

一名 おにうこぎ

Acanthopanax spinosum

Decne. et Planch.

山野ニ生ズル雌雄異株ノ落葉灌木ニシテ高サ2m内外ニ達シ、幹ハ叢生シテ彎曲シ、分枝シテ茶褐色ノ平扁ナル刺ヲ有ス。葉ハ長枝ニハ互生シ、短枝ニハ束生ス、五小葉掌狀複葉ニシテ長柄ヲ具ヘ、小葉ハ倒卵狀楔形ニシテ鋸齒アリ。初夏、球形ヲ呈セル有梗ノ繖形花穂ヲ短枝ノ葉間ニ出シ、有梗ノ黃綠小花ヲ滿開シ、花穂ハ花梗ヲ連ネテ葉柄ヨリ短シ。五花瓣アリ。雄花ハ五雄蕊。雌花ハ二花柱ヲ有ス。果實ハ球形ニシテ黑熟ス。從來之レヲうこぎト云フ、非ナリ、從テ此者五加ニ非ラズ。

けやまうこぎ

誤稱 おにうこぎ

Acanthopanax divaricatum Seem.

山地ニ生ズル落葉灌木ニシテ叢生シ、高サ3m内外、直上シテ分枝シ、枝ニ疎刺アリ、嫩枝ニハ密毛アリ。葉ハ互生シテ長柄ヲ有シ、長枝ニハ疎着シ、短枝ニハ束生ス。五小葉ノ掌狀複葉ニシテ質稍厚ク、裏面ニ密毛ヲ被フル、小葉ハ倒卵形ニシテ重鋸齒ヲ有シ、兩端狹窄ス。秋月、枝梢ニ頂生并ニ腋生ノ花梗ヲ分チ、梗頂ニ球狀ノ繖形花穂ヲ成シテ短梗ノ小白花ヲ密着ス。五花瓣、五雄蕊、黃葯、一花柱アリ。果實ハ黑熟ス。從來之レヲおにうこぎトス、非ナリ。

きづた (百脚蜈蚣)

一名 ふゆづた

Hedera rhombea Sieb. et Zucc.

普通山野ニ見ル常綠ノ攀緣灌木ニシテ岩上・樹上ニ生長シ、其老大ナル者ハ著シキ長サニ達シテ分枝繁茂シ主幹ハ巨大ト成リテ無數ノ氣根ヲ發出シ木石ノ面ニ緊着ス。葉ハ互生シテ長柄ヲ有シ、質剛厚ニシテ滑澤、深綠色ヲ呈シ、全邊ニシテ卵形ヲ成シ、或ハ三裂或ハ五裂ノ者アリ。晩秋、小枝端ニ頂生短軸ヲ出シ、長梗ヲ分チテ梗頂ニ圓形ヲ成セル繖形花穂ヲ成シ、多數ノ綠黃花ヲ開ク。五花瓣、五雄蕊、下位子房アリテ花盤大ナリ。果實球形ニシテ翌年ニ黑熟ス。漢名 常春藤 (誤用)

第859圖



第860圖



第861圖

